

知りたい!
コホートキッズって
こんな子どもたち

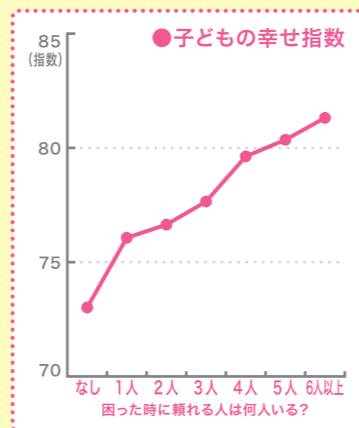
第3回

子どもを幸せにする
ひとつの方法

みなさまにご協力いただいた調査から、「養育者の方が困った時や苦しい時に相談できる人の数が多いほど、お子さまが楽しい気持ちで毎日を過ごせている」ことがわかってきました。面白いことに、養育者の方が「困った時に頼れる人数」はお子さまの幸せに大きく影響するのですが、相談した相手の人たちが「どれだけ頼り甲斐があるか」は比較的影響が小さいようです。

一方、ご家庭の収入状況などはお子さまの幸せには影響していませんでした。それより大事なのは、養育者の方で自身が幸せであることのようにです。

お子さまを育てていらっしゃるお母さま、お父さまが、多くの人に支えられているのだと感ぜられる社会や地域を作ることが、お子さまの幸せにつながるのです。こうした結果は、自治体にもお知らせし、これからの施策へと活かされていきます。お子さまも幸せに暮らせる社会にしていきたいと思います。



コホートキッズとは? ... TOKYO TEEN COHORTにご協力いただいた世帯のお子さんのことです。

★ご住所が変更になるご家庭、ご住所が変更されたご家庭へのお願いです。

もうすぐ引越し!
だいたい準備も終わったし、新しい生活が楽しみだわ!
ちょっと遠い場所だけど...

1 電話で連絡する
こんど引越しするのですが...

2 ハガキを郵送する
そういえば、ニュースレターと一緒にハガキが入っていたわね...

あ! そういえば... ティーンコホートはどうすればいいの!?

ご協力いただける方へは
遠方のご自宅まで研究スタッフがお伺いします!
ひきつづきご協力をお願いいたします

TOKYO TEEN COHORT PROJECT

調査
お問い合わせ

一般社団法人 輿論科学協会「青春期の健康・発達コホート研究」事務局
〒151-8509 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-8-6
Tel 0120-551-327 (AM10:00~PM6:00) 担当: 島田・井田

研究実施
機関

東京大学
公益財団法人 東京都医学総合研究所
国立大学法人 総合研究大学院大学

協力
自治体
窓口

世田谷保健所健康推進課
調布市教育委員会 教育部指導室
三鷹市子ども政策部 児童青少年課

東京ティーンコホートの詳しい情報は
ホームページでもご覧いただけます

<http://ttcp.umin.jp>

- ◆ 第1号～第4号ニュースレターを掲載しています。
- ◆ 現在の調査協力者数や東京ティーンコホートを紹介する動画も掲載しています。

ティーンコホート
TEEN COHORTとは?

思春期のお子さんとの健康と発達の過程をアンケート調査などにより、科学的に検討するプロジェクトです。

東京ティーンコホート ニュースレター
第5号(2015年6月発行)
発行: 公益財団法人 東京都医学総合研究所

【青春期の健康・発達調査】
TEEN COHORT

Contents

- 巻頭
応援メッセージ: 高城 寿雄
- 特別企画
調査員の人にインタビュー

- コホートキッズ
お子さまを幸せにするある方法とは?
- 巻末
今後も引き続きご協力をお願いします

TOKYO TEEN COHORT NEWS LETTER

東京ティーンコホート
ニュースレター

Vol.5

2015. JUN

東京ティーンコホートプロジェクトの第1回調査が完了しました!

このたび、10歳のお子様を対象とした第1回調査が無事に終了しました。2年間で、なんと4478世帯ものみなさまからご協力をいただくことができました。本当にありがとうございます。心から感謝申し上げます。2014年9月からは、12歳になられたお子さまのうち、一部のお子様を対象にした第2回調査が始まっています。思春期を迎えつつあるお子さまとの関係はいかがでしょうか? お子様の心身の成長、受験、部活動など、変化の大きい、とても重要な時期です。引き続き調査へのご協力をいただけますと嬉しく思います。

応援 メッセージ



サポーター
ファイル
05

株式会社タカギ
代表取締役
高城 寿雄

21歳で職業訓練所修了、23歳で会社創業。知的財産法を学ぶために53歳で立教法学部入学。現在一橋大学国際企業戦略研究科博士課程在学中。「社会の発展に貢献する」という企業理念のもと、会社年商180億、社員1,000人の株式会社タカギの顔として、今も躍進を続けている。

私 は中学2年まで四国の新居浜市で育ちました。自然を相手に毎日伸び伸びとガキ大将をしていました。中学2年の終わりに九州の門司に帰ってきました。驚いたことに同級生は皆異性に対して意識し、いやがらせ等していました。高校に入り私自身大変シャイになり男性に対しても言いたいことが言えなくなりました。相談する相手も見つからずどうしたらよいか分からず困りました。それで度胸を付ける為次々と事件を起こしました。学校の先生から精神異常のレッテルをはられ、二度の無期謹慎の後、高校を退学になりました。しかたなく転校し、どうにか高校を卒業しましたが、その後20歳になるまでやけくその生活でした。19歳の時少年鑑別所に入れられて1ヶ月、教官いわく「お前は正常だ。まともなやつ」と言われて気分を変え現在があります。これが私の思春期です。

私 は、常に一人で戦って来ました。何か事件を起こす時も一人でした。なぜ一人かと言えば、人数が多いと誰かが口を割るからです。私の趣味は発明でした。中三の時、門司市の発明展で特選と天賞と人賞と佳作を取りました。賞品を受け取る時、リュックサックを持って行って貰って来ました。毎日新

間に私の記事が載りました。私は小学校の時より、工作が好きでした。工作を始めると、もう夢中でした。中学の時、発明展がある事を知り、夢中で夜も寝ないで作品を作って、出品しました。しかし勉強はほとんどしませんでした。高校の成績も入学時230人中60番でしたが、退学の時は、225番でした。授業が、受験対策中心で、まったく面白くなかったので、一度も宿題をして行きませんでした。とにかく勉強が嫌いで、暇さえあれば、発明品の試作をするか、バイクを分解したり組立てたり、乗り回していました。私の作った会社は大会社の下請けでしたが、会社を作って15年目に、オイルショックで倒産しました。それで下請けは、不景気に成ると仕事なくなり、倒産すると考え、メーカーになる決心をしました。新製品を作って、もしヒットしてもすぐ物まねのコピー商品が出るだろうと考え、特許を取る事にしました。幸い、発明が趣味でしたので、うまく行き、今私の発明の特許は約180件あります。一番売れている浄水器の特許製品は、一年間に140億円の売り上げがあります。人は何か長所があります。それを見つけて伸ばすと、人生に自信と希望が生まれます。皆さん、ガンバって下さい。

調査員の方にインタビュー

Interview

ご家庭と研究スタッフをつなぐ調査員の方々。日々どのようなことを考えて調査をされているのでしょうか。第1回調査が終わったのをきっかけに、4人の方にお話を伺いました。



——本日はありがとうございます。

全員 よろしくお願ひします。

——みなさん、これまでにどのくらいのご家庭に訪問されたのでしょうか？

関谷 私は200世帯はうかがったと思います。

全員 私たちもです。

——みなさんすごいですね。調査をされている中で、どういったことをお感じになりますか？

奥山 お子さんに「これはとっても貴重な調査なのよ」とおっしゃってくださったお母様がいて、そういう風にとらえてくださっていてありがたいなと思いました。

熊田 それぞれの質問がどう活かされていくのか、どう役に立つのか…。調査員としては考える必要がないことなのですけど、気になりますね。

山寺 講演会がとってもよかったとおっしゃってくださったお母様がいて。せっかくなのでニュースレターなどでも内容をお知らせして欲しいと。

——それはうれしいです。検討したいと思います。

奥山 私たちの息子・娘のころは電子環境がなかったのが、今はLINEだなんだ。お母さんたちも知りたいところですよ。使っているかどうか、使うときのルールなどは、他のご家庭でどうしているかわからないので。私たちのころは家の電話だったので交際関係がよくわかっていたのですが、今はわからなくなっているようです。

——まさに私たちも注目しているポイントです。

第2回調査でも覚えていてくださって…

——第2回調査が始まりましたが、いかがですか？

奥山 お電話差し上げると覚えてくださっていて…。

関谷 お子さんの顔は成長していてもわかるんです。

奥山 男の子はうっすらおひげが…。やっぱり思春期の傾向が出てきているんだなと。

関谷 声変わりもしててね。10歳の

ときはかなり幼くて、これで「思春期」というのは…と思っていたのですが。

熊田 1回目の調査はとにかく必死だったのですが、2回目に伺ったら、私が貼ったふせんが残っていて…。成長したんですねとお話ししながら、忘れていくのもいいものだなあと(笑)

奥山 私はなかなか1回目に行ったご家庭に行けなくて。仕方ないのだけれど、継続してお伺いしたかったなと。

——調査の設計上、第2回調査にお伺いできないご家庭があるのです。でも、今後またお伺いできる機会を作ろうと思っています。

娘や孫と重ねあわせて… 悩みの大きい時期を支える調査に

——調査をしていく中で、やりがいのようなものを感じる時はありますか？

関谷 ちょうど孫の年代なんですね。自分の娘と孫に重ねあわせて、楽しみにさせていただいているんです。

奥山 この調査は成果がすぐに表れるものではないですよ。でも、難しい問題からお子さんを救うために、データを取って…。すぐにではなくても、私たちの力が役に立つのかなと思ひ、「やらせていただいている」という感じが始めたところです。

山寺 そうなんです。最初は調査員として、だったのが、だんだん変わってき

ました。佐世保の事件などもあって、お母さんたちも「早くこうした研究をしておかないといけなかったんですよ」と言っていた。それに、お母さまたちも2年間で変化してらっしゃるんです。問題を乗り越えて、がんばってらっしゃる姿を見て、お母さん、よかったですね!と。

全員 (うなづく)

山寺 お母さんが仕事を始めて、時間がとれないという方もいらっしゃいました。ただ、みなさんとても理解はしてくださっています。

関谷 2年たつと、おうちの状況もいろいろと変わっているんですよ。

熊田 第2期調査は本当にお母さんの悩みの大きい時期で。それに、自分自身の子育てを振り返っても、子どもが30歳になるまでというのは大事な時期だとあらためて思うんです。その時期に、こうした調査の結果を、協力してくださったお母様や、全国的にも、伝えられれば良いと思います。短い時間で、お子さんもいるので、お母様の本当の悩みまではなかなか聞けないんです。だからこそ、データの中から得られるものが大きいのではと思っています。そこで解決していければと。

親子関係の変化 受験からそのまま思春期へ

熊田 10歳のころはお母さんとお子さんが友達関係のように見えていたのが、12歳になるとちょっと変わってきた。お子さんの意見が出てきているなど。

山寺 お母さんの言葉にハイとは言えない時期にさしかかっているように思います。

奥山 まさに成長しているんだなあと、思いますよね。

山寺 12歳というのは受験をはさんでいるんですね。そうすると、お母さんがとってもお子さんに気を遣っていて。それで、1年くらいの間、気を遣い、気を遣い…。その後、そのまま思春期に入ってしまうようなんです。受験のときの関係をひきずったまま。

全員 (うなづく)

山寺 受験の時期を過ごしたことが、10歳の時とは親子の関係を变えているのかなと。今回初めてそのことに気づきました。

熊田 私の場合は、公立に行く方が多かったですからそれほどでもなかったですが、それでもやっぱり中学に上が

るのでお母さんが気を遣って…。そのままの親子関係が続いていった感じがしました。

街で声を かけられることも… ご家庭との信頼関係を

——最後にポジティブな話をさせてください。調査をしていてうれしかったのはどんなことですか？

山寺 協力してくださった方が街で声をかけてくださるんです。お子さん、下のお子さんまで、「あっ、山寺さんだ!」って。私の通っている美容院の美容師さんが、地区は違うんですが、調査に協力して下さっていたことがわかったこともあって(笑)

全員 (笑)

熊田 12歳の調査で、特に説明をしなくても、信頼関係があって安心していただけるというのが、嬉しいというか、よかったと思うことがあります。調査を継続していくためには、信頼関係と、お母様の「参加したい」というお気持ちが大事だと思います。

